2026年９月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	株式会社Amazia	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	4424	URL	https://amazia.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	佐久間　亮輔
問合せ先責任者	（役職名） 取締役CFO	（氏名）	神津　光良　　TEL　03-6415-3435
定時株主総会開催予定日	2026年12月24日	配当支払開始予定日	―
有価証券報告書提出予定日	2026年12月23日		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　　機関投資家及びアナリスト向け

（百万円未満切捨て）

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	3,379	18.9	△132	―	△128	―	56	―
2025年９月期	2,843	△20.7	△361	―	△357	―	△372	―

（注）包括利益　　2026年９月期　82百万円（　―%）　　2025年９月期　△373百万円（　―%）

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円　銭	円　銭	%	%	%
2026年９月期	8.60	―	6.4	△8.3	△3.9
2025年９月期	△56.60	―	△36.2	△21.0	△12.7

（参考）持分法投資損益　　2026年９月期　―百万円　　2025年９月期　―百万円

（注）2025年９月期の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの１株当たり当期純損失であるため記載しておりません。また、2026年９月期の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
2026年９月期	1,656	964	55.9	140.75
2025年９月期	1,461	907	57.7	128.25

（参考）自己資本　　2026年９月期　925百万円　　2025年９月期　843百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	△232	176	―	404
2025年９月期	△451	△16	―	460

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	百万円	%	%
2025年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
2026年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
2027年９月期(予想)	―	0.00	―	0.00	0.00		―	

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	3,717	10.0	0	―	5	―	55	△2.3	8.40

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　：　有

新規　　１社（社名） 株式会社リーデックス 、除外　　ー社（社名） ー

（注）詳細は、添付資料12ページ「３.連結財務諸表及び主な注記（５）連結財務諸表に関する注記事項（連結範囲の重要な変更に関する注記）」をご覧ください。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	6,757,800株	2025年９月期	6,757,800株
②　期末自己株式数	2026年９月期	180,504株	2025年９月期	180,504株
③　期中平均株式数	2026年９月期	6,577,296株	2025年９月期	6,577,296株

（参考）　個別業績の概要

１．2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	3,056	9.5	△123	―	△124	―	43	―
2025年９月期	2,792	△22.1	△290	―	△286	―	△373	―

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年９月期	6.60	―
2025年９月期	△56.74	―

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	1,885	951	48.4	138.75
2025年９月期	1,450	907	58.1	128.25

（参考）自己資本　　2026年９月期　　912百万円　　2025年９月期　　843百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明会について）

当社は、2026年11月13日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する決算説明資料につきましては、TDnetで本決算短信と同時に開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 ……2
（１）当期の経営成績の概況 ……2
（２）当期の財政状態の概況 ……3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 ……3
（４）今後の見通し ……4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 ……4
３．連結財務諸表及び主な注記 ……5
（１）連結貸借対照表 ……5
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 ……7
連結損益計算書 ……7
連結包括利益計算書 ……8
（３）連結株主資本等変動計算書 ……9
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 ……11
（５）連結財務諸表に関する注記事項 ……12
（継続企業の前提に関する注記）……12
（連結範囲の重要な変更に関する注記）……12
（セグメント情報等）……12
（１株当たり情報）……15
（重要な後発事象）……15

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当社グループの主要な事業領域である電子書籍市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2026」によると、2025年度の市場規模は6,846億円（前年度比143億円増、2.1％増）と推計され、2030年度には7,500億円程度への拡大が予測されるなど、市場は引き続きなだらかな増加傾向にあります。

一方で、電子書籍市場の競争環境は厳しく、アクティブユーザー数が減少傾向にあります。

このような市場環境の中で、当社グループはエンターテイメント事業において、主力サービスである「マンガBANG!」の収益性の改善及び作品制作を強化するとともに、2024年９月期に立ち上げたITソリューション事業において、事業の立上げ及び拡大に向けた先行投資に注力しました。その一環として、2026年３月31日付で株式会社リーデックスの全株式を取得し、同社を新たに連結の範囲に含めました。

この結果、当連結会計年度における売上高は3,379,623千円（前年同期比18.9%増）、営業損失は132,423千円（前年同期は営業損失361,169千円）、経常損失は128,973千円（前年同期は経常損失357,578千円）、親会社株主に帰属する当期純利益は56,549千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失372,270千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（エンターテイメント事業）

「マンガBANG!」において、広告枠の増加及び周年イベントや様々なキャンペーン施策を行ったことで、広告ARPUは改善しましたが、費用対効果を考慮して広告宣伝費を抑制した影響でMAUが減少し、結果として課金収益は減少しました。

一方で、将来の利益の源泉となる作品制作に引き続き注力した結果、既存巻の売上も増加するなど、マンガBANGコミックスの売上は好調に推移しました。

また、2025年２月に開始した越境ECサイト「Fandom Tokyo」は、当連結会計年度の売上高が450百万円を超えるなど、好調に推移しました。

この結果、売上高は3,056,306千円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益は186,809千円（前年同期はセグメント利益5,758千円）となりました。

（ITソリューション事業）

SES（システムエンジニアリングサービス）事業については、株式会社リーデックスを新たに連結子会社化し、第３四半期連結会計期間より損益計算書を連結したことや、積極的に採用活動を行ったこと等により、エンジニアの確保及び取引先基盤の拡大が進み、売上高は好調に推移しました。他方で、インターネット広告を商材としたSEOメディア及びポイ活アプリでは、集客及び収益化が想定を下回り、売上高が低調に推移しました。

また、2026年８月には株式会社ウィズマイメディカルを株式会社Amazia AIに社名変更し、AI関連サービス事業への本格参入に向け、AI関連技術の研究開発、自社サービスの企画・運営、並びにAIを活用した開発支援業務の具体化を進めております。

この結果、売上高は323,317千円（前年同期比536.7%増）、セグメント損失は1,051千円（前年同期はセグメント損失45,551千円）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産の部）

当連結会計年度末における総資産は1,656,112千円となり、前連結会計年度末に比べ194,556千円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産が84,096千円、のれんが67,316千円、商品が56,492千円増加した一方で、現金及び預金が55,629千円減少したことによるものであります。

（負債の部）

当連結会計年度末における負債合計は691,505千円となり、前連結会計年度末に比べ137,053千円増加いたしました。これは主に、未払金が86,439千円、未払法人税等が49,803千円増加したことによるものであります。

（純資産の部）

当連結会計年度末における純資産は964,606千円となり、前連結会計年度末に比べ57,502千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が56,549千円、その他有価証券評価差額金が25,666千円増加した一方で、新株予約権が24,712千円減少したことによるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ55,629千円減少し、404,959千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、使用した資金は232,094千円（前連結会計年度は451,529千円の支出）となりました。その主な要因は、関係会社株式売却益91,000千円、棚卸資産の増加72,426千円、新株予約権戻入益24,712千円、前受金の減少21,353千円により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、得られた資金は176,464千円（前連結会計年度は16,390千円の支出）となりました。その主な要因は、投資有価証券の売却による収入294,293千円、関係会社株式の売却による収入91,000千円があった一方、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出215,005千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、資金の増減はありません（前連結会計年度も増減なし）。短期借入れによる収入が350,000千円あった一方、同額の短期借入金の返済による支出が発生した結果によるものであります。

（４）今後の見通し

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、電子書籍市場が拡大する一方、業界内の競争激化、世界経済の停滞による広告市況の悪化が継続しております。

このような厳しい市場環境の中で、当社グループは、2027年９月期以降の再成長、黒字化に向けて、エンターテイメント事業における利益確保及びITソリューション事業、新規事業への積極的な投資を行って参りました。その結果、エンターテイメント事業では堅調な利益を確保したほか、ITソリューション事業、新規事業におきましても、SES事業及び2025年２月にリリースした越境ECサイト「Fandom Tokyo」が順調に拡大しました。

各事業の今後の取り組みといたしましては、エンターテイメント事業において、「マンガBANG!」の利益拡大を目指し、アプリ外課金の本格導入による決済手数料の削減及び広告宣伝費を抑制しつつ、MAU、売上高の維持に努めて参ります。一方で、作品制作及び越境ECサイト「Fandom Tokyo」は、順調に拡大しているため、将来の利益体質の基盤構築を目指し、制作費、広告宣伝費等の先行投資を行って参ります。特に、作品制作におきましては、大ヒット・メディアミックス化による収益の重層化を目指すとともに、オリジナル作品が読めることで当社グループの主力サービスである「マンガBANG!」の他社サービスとの差別化の確立を目指して参ります。

ITソリューション事業におきましては、SES事業の拡大に向けたエンジニア採用の強化及び案件単価の引き上げを推進し、成長性と収益性のバランスを図りながら、事業セグメントの早期黒字化を目指して参ります。

以上より、2027年９月期の連結業績は、売上高3,717百万円、営業利益0百万円、経常利益5百万円、親会社株主に帰属する当期純利益55百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用については、株主構成及び国内の同業他社の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	460,589	404,959
売掛金	501,597	510,415
商品	15,731	72,223
コンテンツ	28,973	44,906
その他	129,485	160,720
流動資産合計	1,136,376	1,193,225
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,418	4,418
減価償却累計額	△4,418	△4,418
建物（純額）	－	－
工具、器具及び備品	11,613	11,202
減価償却累計額	△11,613	△11,202
工具、器具及び備品（純額）	－	－
有形固定資産合計	－	－
無形固定資産		
のれん	－	67,316
無形固定資産合計	－	67,316
投資その他の資産		
敷金及び保証金	222,054	222,458
投資有価証券	103,125	89,015
関係会社長期貸付金	10,000	－
繰延税金資産	－	84,096
貸倒引当金	△10,000	－
投資その他の資産合計	325,179	395,569
固定資産合計	325,179	462,886
資産合計	1,461,555	1,656,112

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,490	174,708
未払金	156,573	243,013
未払法人税等	4,623	54,426
賞与引当金	2,250	11,041
前受金	171,481	150,127
契約負債	405	146
その他	30,628	58,041
流動負債合計	543,452	691,505
固定負債		
関係会社事業損失引当金	11,000	－
固定負債合計	11,000	－
負債合計	554,452	691,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	366,724	366,724
資本剰余金	363,010	363,010
利益剰余金	246,136	302,685
自己株式	△132,346	△132,346
株主資本合計	843,524	900,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	－	25,666
その他の包括利益累計額合計	－	25,666
新株予約権	63,579	38,866
非支配株主持分	－	－
純資産合計	907,103	964,606
負債純資産合計	1,461,555	1,656,112

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
売上高	2,843,175	3,379,623
売上原価	2,267,268	2,477,036
売上総利益	575,907	902,587
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	332,238	309,173
役員報酬	80,816	87,016
従業員給料及び手当	205,011	241,862
法定福利費	48,200	55,252
地代家賃	71,175	77,177
支払報酬	49,164	45,249
その他	150,470	219,279
販売費及び一般管理費合計	937,076	1,035,011
営業損失（△）	△361,169	△132,423
営業外収益		
受取利息	1,239	1,465
為替差益	－	1,449
受取手数料	2,055	1,227
助成金収入	500	250
その他	646	275
営業外収益合計	4,441	4,667
営業外費用		
支払利息	－	166
為替差損	850	－
オフィス移転費用	－	1,051
営業外費用合計	850	1,217
経常損失（△）	△357,578	△128,973
特別利益		
投資有価証券売却益	－	13,902
関係会社株式売却益	－	91,000
新株予約権戻入益	－	24,712
貸倒引当金戻入額	－	10,000
関係会社事業損失引当金戻入額	－	11,000
特別利益合計	－	150,614
特別損失		
減損損失	1,006	3,377
関係会社事業損失引当金繰入額	3,750	－
関係会社貸倒引当金繰入額	10,000	－
特別損失合計	14,756	3,377
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	△372,335	18,263
法人税、住民税及び事業税	780	49,923
法人税等調整額	－	△88,208
法人税等合計	780	△38,285
当期純利益又は当期純損失（△）	△373,115	56,549
非支配株主に帰属する当期純損失（△）	△844	－
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△372,270	56,549

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
当期純利益又は当期純損失（△）	△373,115	56,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	25,666
その他の包括利益合計	－	25,666
包括利益	△373,115	82,215
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	△372,270	82,215
非支配株主に係る包括利益	△844	－

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	366,724	363,010	618,406	△132,346	1,215,794
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			△372,270		△372,270
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	－	△372,270	－	△372,270
当期末残高	366,724	363,010	246,136	△132,346	843,524

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	62,989	844	1,279,629
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			△372,270
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	589	△844	△255
当期変動額合計	589	△844	△372,526
当期末残高	63,579	－	907,103

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	366,724	363,010	246,136	△132,346	843,524
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			56,549		56,549
連結子会社株式の追加取得による持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	△0	56,549	－	56,549
当期末残高	366,724	363,010	302,685	△132,346	900,073

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	－	－	63,579	－	907,103
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					56,549
連結子会社株式の追加取得による持分の増減					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25,666	25,666	△24,712	－	953
当期変動額合計	25,666	25,666	△24,712	－	57,502
当期末残高	25,666	25,666	38,866	－	964,606

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	△372,335	18,263
減価償却費	118	－
のれん償却額	－	7,479
減損損失	1,006	3,377
差入保証金償却額	－	90
貸倒引当金の増減額（△は減少）	10,000	△10,000
賞与引当金の増減額（△は減少）	450	8,791
関係会社事業損失引当金の増減額（△は減少）	3,750	△11,000
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△13,902
関係会社株式売却損益（△は益）	－	△91,000
新株予約権戻入益	－	△24,712
受取利息	△1,239	△1,465
支払利息	－	166
株式報酬費用	589	－
助成金収入	△500	△250
売上債権の増減額（△は増加）	16,392	40,637
棚卸資産の増減額（△は増加）	△10,663	△72,426
前受金の増減額（△は減少）	△21,588	△21,353
仕入債務の増減額（△は減少）	△47,441	△7,806
未払金の増減額（△は減少）	△53,133	△19,586
その他	18,538	△39,371
小計	△456,056	△234,067
利息の受取額	1,150	1,465
利息の支払額	－	△166
助成金の受取額	500	250
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	2,876	423
その他	－	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△451,529	△232,094
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	－	294,293
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△215,005
関係会社株式の売却による収入	－	91,000
有形固定資産の取得による支出	△1,125	△1,468
長期貸付金の貸付による支出	△10,000	－
貸付金の回収による収入	－	10,000
敷金及び保証金の差入による支出	△5,728	△3,573
敷金及び保証金の回収による収入	－	1,169
その他	462	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,390	176,464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	350,000
短期借入金の返済による支出	－	△350,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△467,920	△55,629
現金及び現金同等物の期首残高	928,509	460,589
現金及び現金同等物の期末残高	460,589	404,959

（５）連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

当連結会計年度において、株式会社リーデックスの全株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。なお、2026年３月31日が株式取得日であることから、2026年４月１日からの損益計算書を連結しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績の評価のために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、独立した経営単位である当社及び連結子会社が、当社グループの経営方針のもと、各事業における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、当社並びに個々の連結子会社が営む各事業を最小単位とした事業セグメントから構成されており、経済的特徴等が類似している事業セグメントを集約した「エンターテイメント事業」、「ITソリューション事業」を報告セグメントとしております。

「エンターテイメント事業」は、主にスマートフォン向けマンガアプリ「マンガBANG!」、Web版「マンガBANGブックス」、海外向けマンガアプリ「MANGA BANG!」の企画・運営及びオリジナルマンガの制作、並びに越境ECサイト「Fandom Tokyo」の運営をしております。

「ITソリューション事業」は、主に、システム開発やSEOメディアの運営等のIT関連サービスを提供しております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	連結財務諸表計上額（注）２
	エンターテイメント事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
ユーザー向け売上高	1,857,228	－	1,857,228	－	1,857,228
法人向け売上高	935,169	50,777	985,947	－	985,947
顧客との契約から生じる収益	2,792,398	50,777	2,843,175	－	2,843,175
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	2,792,398	50,777	2,843,175	－	2,843,175
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,792,398	50,777	2,843,175	－	2,843,175
セグメント利益又は損失（△）	5,758	△45,551	△39,793	△321,376	△361,169
その他の項目					
減価償却費	51	－	51	66	118
減損損失	－	－	－	1,006	1,006

（注）１．調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失（△）の調整額△321,376千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

(2)その他の項目の減価償却費の調整額66千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用に係る減価償却費であります。

(3)その他の項目の減損損失の調整額1,006千円は、共用資産に係る減損損失であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

３．セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントに配賦しております。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	連結財務諸表計上額（注）２
	エンターテイメント事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
ユーザー向け売上高	2,010,652	―	2,010,652	―	2,010,652
法人向け売上高	1,045,654	323,317	1,368,971	―	1,368,971
顧客との契約から生じる収益	3,056,306	323,317	3,379,623	―	3,379,623
その他の収益	―	―	―	―	―
外部顧客への売上高	3,056,306	323,317	3,379,623	―	3,379,623
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	3,056,306	323,317	3,379,623	―	3,379,623
セグメント利益又は損失（△）	186,809	△1,051	185,757	△318,181	△132,423
その他の項目					
のれんの償却額	―	7,479	7,479	―	7,479
減損損失	1,909	―	1,909	1,468	3,377

（注）１．調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失（△）の調整額△318,181千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

(2)その他の項目の減損損失の調整額1,468千円は、共用資産に係る減損損失であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

３．セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。ただし、関連する費用については、合理的な配賦基準で各事業セグメントに配賦しております。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり純資産額	128.25 円	140.75円
１株当たり当期純利益又は １株当たり当期純損失(△)	△56.60 円	8.60円

（注）１．前連結会計年度の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり当期純損失であるため記載しておりません。また、当連結会計年度の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２．１株当たり当期純利益又は１株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	△372,270	56,549
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	△372,270	56,549
普通株式の期中平均株式数(株)	6,577,296	6,577,296
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第３回新株予約権 新株予約権の数　4個 普通株式　1,600株 第４回新株予約権 新株予約権の数　221個 普通株式　88,400株 第５回新株予約権 新株予約権の数　341個 普通株式　136,400株 第７回新株予約権 新株予約権の数　180個 普通株式　36,000株	第３回新株予約権 新株予約権の数　4個 普通株式　1,600株 第４回新株予約権 新株予約権の数　221個 普通株式　88,400株 第５回新株予約権 新株予約権の数　325個 普通株式　130,000株 第７回新株予約権 新株予約権の数　110個 普通株式　22,000株

（重要な後発事象）

該当事項はありません。